2023年6月下旬配本予定

上路市剛作品集
『受肉｜INCARNATION』

超絶技巧によるリアリズム彫刻がここに

徹底した再現力で独自のリアリズムの世界を切り開く彫刻家・上路市剛。その初期作品から最新作までを一堂に収録した初の作品集。

本体4,000円＋税｜92頁（カラー60頁）｜B5変｜コデックス装
ISBN:978-4-908122-22-4　C0071

フィレンツェ・アカデミア美術館のダビデ像（ミケランジェロ作）や、京都・六波羅蜜寺の空也上人立像（康勝作）など、美術ファンならずとも一度は目にしているであろう著名な作品をモチーフとし、そこに現代人の身体を「受肉」させる手法で知られる彫刻家・上路市剛。

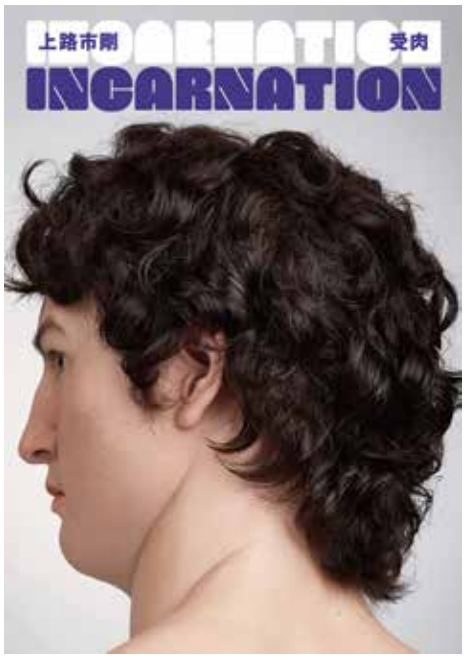
本物と見紛うほどのリアルな彫刻は、塑像制作にはじまり、シリコンによる型取り、点描による彩色、髪や髭の1本ずつの植毛といった、膨大な工程を経て生み出されている。

こうした執拗とすらいえる制作過程を支えるのが、「同性愛的美意識」だと上路は言う。上路は自身がゲイであることを公言しているが、ここでいう「同性愛的美意識」とは、必ずしもゲイ・アートのような直接的な同性愛表現ではなく、同性愛者ならではの視点がなければ成し得ないような造形や描写を生み出す視点のことである。

上路の制作行為は美術史上の名作の中に特異点的に現れた「同性愛的な美意識」をシミュレーションすることから始まる。先人の作品をシミュレーションすることで、彼らの衝動を追体験し、また、上路自身の衝動も重ねながら彫刻に向き合う。

美術史の裏側に隠されたこうした「美意識」を、現代を生きる作家のフィルターで強調することによって、美術史に新たなリアリティを与えることが、彫刻を通して挑むテーマとなっている。

人物彫刻をリアリズムの手法でつくることは、大変な肉体的負担を要する。にもかかわらず、そうしたスタイルを選択せずにはいられない美への欲求が人物彫刻にはあると上路は言う。その欲求の強度こそが、「同性愛的な美意識」を「普遍的な美意識」に昇華させ、後世に残る作品を生み出す土壌となるのだろう。



上記内容、書籍内容への問い合わせはアートダイバー（担当：細川）まで　TEL045-281-3081 FAX045-330-5165 info@artdiver.moo.jp

▶ご注文はツバメ出版流通まで　**FAX: 03-3721-1922**　TEL:03-6715-6121　http://tsubamebook.com　mail: info@tsubamebook.com

貴店名（番線印）	新刊	アートダイバー　http://artdiver.moo.jp　返品条件付注文扱い　返品了解　ツバメ出版流通：川人
ご担当：　様	冊	上路市剛作品集『受肉｜INCARNATION』 本体4,000円＋税｜92頁（カラー60頁）｜B5変｜コデックス装　ISBN:978-4-908122-22-4　C0071